No.77

Newsletter

The Friendship Force of Aichi

発行 2008 年 9 月

7 月 4 日愛知クラブ親睦会が行なわれた。40 名以上が参加、好天にも恵まれリニューアルした名港遊覧船でのクルーズと、続く懇親会を楽しんだ。
7 月 21 日名古屋で中部ブロック会議が開催された。FFI マリアムさん、FFJ 石井さんも参加、各クラブが抱える現状の諸課題と取組みについて話し合った。マリアムさんからの FFI 活動方針の紹介に続き、質疑応答が行なわれた。愛知クラブの役員も多数参加、今後の活動に大いに刺激を受けることが出来た。

半年を振り返って

会長 冨岡達也

さしもの暑さもどうやら峠を越しました。北京オリンピックも終わり、ようやく普段の生活に戻ることでしょう。感動的な場面や失望など色々ありましたが、それにしても上野選手の熱投は見事でした。毎日続いていた嫌になるほどの暗いニュースから一時開放されホットしました。しかし、昨今のニュースの暗さはどうでしょう。世の中には、良いニュースもあるはずなのに、マスコミの報道姿勢にも問題があるように思います。

さて本題にもどしましょう。いつも感じることながら、この前、年次総会があったと思ったら、もう今年度の後半です。

今年の交換は、2 月にコスタリカ・アラフェラ、サンアントニオ両クラブを訪問、4 月にはベルジアンコーストクラブの受入れがありました。

コスタリカを一昨年９月に受入れ、今回はその返礼としての訪問でした。互いに再会を喜び大変良い交換であったとのことです。サンアントニオへの移動では悪天候でひどい目にあったとのことですが交換は順調で、反省会でも大変話が盛り上がっていました。移動時の思わぬ異変などは今後もありうることで、経験を皆で共有していきたいと思います。

4 月のベルジアンコーストは、桜を見たいとの先方の希望通り、満開の桜と天候に恵まれ再会を喜び合うことができました。

しかし、ここでも今まで我々が全く予想していなかったアクシデントに遭遇しました。今後対策を研究して行きたいと思います。

今年は会の方針として、幾つかのワーキンググループを発足させ、会員間の横の繋がりを強めて行こうという提案をしました。
行事委員会、事務局を中心に幾つか試みがなされていますが、今後根づかせて行けたらと思います。
最近皆がメール交換によって連携を活発化しようという動きがでており、趣味なども加え広がってくれたらと願っています。

10 月にはゴールドコーストで世界大会があります。愛知から 11 名参加しますが、このようにどんどん外へ出て交流の幅を広めるのは非常に望ましいことです。引続いてミネソタクラブがやってきます。どうか積極的に行事に参加してください。

本で面白いことを読みました。赤ん坊の頭を調べると、母国語を流したときは左脳に血液が集まり、意味のない音には反応がないのだそうです。何故私は英語が上手くならないか分かった気がします。多分英語を聞いても左脳に血液が集まらないのでしょう。せいぜい英語のシャワーを浴びて、脳に血液が集まるよう訓練して、より良い交流活動ができるようにしたいと思っています。

報告　中部ブロック会議　名古屋国際センターで開催

2008 年の中部ブロック会議が、7 月 21 日名古屋国際センターで開催された。

今年は、FFI アジア担当のマリアム氏、FFJ コーディネーターの石井氏も出席され、静岡、岐阜、三重、大阪、京都福知山、奈良の各クラブからの代表と愛知クラブの役員、あわせて 42 名が参集し、各クラブの抱える運営上や活動上の問題点が提起され、次のような内容が話し合われた。

○ 高齢化に伴う脱会・休会で、会員が減る傾向にあるが、会員を増やす手立ては‥‥。
○ ED のなり手が少ない。グループの協力と英語を得意とする会員による支援を。
○ 受入れの運営経費と会員の参加費等に関する負担は、どのようにしているか。
○ 受入れ時の事故等に備えて、保険対策はどうしているか。

協議のあと、マリアム氏が FFI の活動方針について話をされた。

・従来の交換プログラムの継続　・教師と生徒の交換サポート（英語学習）　・宗教間の交流
・人道的交流（学校、病院の建設）・環境問題に関する交換事業　（今年はタイ）

昼食懇談後、各クラブから FFI への要望が出され、マリアム氏から回答があった。

他クラブの皆さん

石井さん　マリアムさん　奈良・大西さん

マリアムさん　石井さん　そして愛知のメンバー

中部ブロック会議とマリアムさんを囲む会

久保三郎

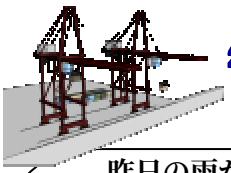
今年の中部ブロック会議は猛暑の中で、7 クラブ総数 42 名で定刻 10 時 30 分に開会された。

奈良クラブの大西会長のもとで会議が進行された。全員の自己紹介に始まり、議題は多く、活発な意見交換があり、緊張の中にも楽しい会議となった。各クラブからは会員の減少、ED を決めるのに難航、受入れ・渡航時の相手側との連絡などについて FFI のマリアムさんに質問された。

特に三重クラブ 6 人全員が発言されたのは強く印象に残った。和気あいあいの中で閉会となった。

12 時 30 分より東天紅にて、昼食懇談とマリアムさんを囲む会でテーブル毎に各クラブで話が弾み、最後にマリアムさんと各クラブが記念写真を撮り、午後 2 時 30 分で解散となった。

今年の中部ブロック会議は今までのなかで、一番盛大であったと感じた。



2008年 7月4日

名古屋港 見学企画

白木裕己

昨日の雨がうそのように晴れ、梅雨の合間の良い天気の中で、愛知クラブの企画として、名古屋港の見学クルージングが加藤紀子副会長の計画のもと実施されました。

名古屋港は現在日本一の輸出入貿易高を達成し、目覚しく発展をしています。特にアメリカへの車の輸出や中国・オーストラリアとの輸出入の拡大です。また、現在ではシアトルのロッキード社向けの三菱重工、川崎重工の製品などが、名古屋港からセントレア空港に搬送されています。

ポートタワーから豪華なクルージング船に乗り、名古屋港管理組合の方の説明に耳を傾け、初めての金城埠頭、飛島コンテナーヤードの巨大な貨物船を目の前に見ながら、紙の原料のチップヤード、ポートアイランドなどを見学しました。船の甲板に出ると海の潮風が心地よく顔を撫ぜ気持ちの良い時間を過ごしました。

名古屋港はゴミも浮いてなくて、きれいな環境が保たれていると感じました。

その後、場所を金山の ANA ホテルに移し、昼食を食べながら全員で楽しく語り合い、親睦を深めました。

甲板に出て潮風を浴びる

名古屋港見学クルーズ

佐藤公世

前日の気象予報は雨、当日朝の予報は霧、雷注意報。どう転んでも天気の神様には見放されたと思っていた所、一転真夏の日差しと晴天がやってきました。名古屋港では加藤さんのご主人(県会議員)をはじめ名古屋港管理組合の方々に迎えられ、10 時に乗船いたしました。

乗船前に記事を書くように言われていたのに記者魂は何処かに置き忘れ、船名もシップデーターも聞くのを忘れ窓にかじりついて景色を眺めました。

まず、最初に現れたのが自動車運搬船、一隻は繋留されており、もう一隻はタグボートに押されてまさに接岸する所でした。続いてコンテナーターミナルには 9 万トンのコンテナー船が接岸し荷役作業の最中、離れた所からではそれほど大きく感じませんでしたが、近づくと圧倒される巨大さでした。その他チップ専用岸壁、バラ積み貨物船岸壁等、それぞれの目的に合わせた岸壁が整備されているのには驚きました。奇しくもその晩 NHK で東海北陸道全開通の特番があり、福井港との荷物の取り合いの話がありましたが、貨物取扱高日本一の名古屋港が中部工業地帯をバックに益々発展する予感を感じる見学会でした。お世話になりました皆様に心から感謝申し上げます。

船内で名港管理組合の方から説明を受ける

ANA ホテルで昼食

＊ 事務局からのお知らせ ＊

Friendship Force の新しいロゴと新しいスローガン

6 色で構成されている多彩な色は、‘多様性’を暗示しており、多様な人種が集うことを表現して、見る人に語りかけてくるものを象徴しているシンボルマークです。世界 6 大陸、平和の鳩でもあり、人々が手を繋いでいるようでもあります。

＜ FFI アジア担当のMaryam Jordanさん とFFJ コーディネーター石井嗣代さんの歓迎夕食会 ＞

7 月 21 日に名古屋国際センターで開催された「中部ブロック会議＆マリアムさんを囲む会」の終了後、冨岡会長と加藤八郎さんがノリタケガーデンへお二人を案内されました。その後、会員の土居陽子さんの御宅に愛知クラブの会員 25 名が集まり、土居さんの見事なお料理による歓迎夕食会が催されました。お二人とそれぞれ親しくお話する機会を持つことが出来、楽しい時間を共有しました。

ゴールドコースト世界大会　10 月 2 日～5 日

参加者：冨岡達也　安藤龍藏　橋本忠幸　山田晴久　安藤康彦　安藤昌代
久保三郎　加藤紀子　加藤孝子　大津伊津子　木全智枝子　　11 名

◎ 新入会員の紹介　どうぞよろしく

★ 稲葉千賀子さん　半田市在住
趣味：料理、Walking, クラシック音楽　紹介者：加藤紀子

★ 小竹和子さん
土岐市在住
趣味：テニス
紹介者：小倉小枝子

★ 林 伸子さん　土岐市在住
趣味：painting　紹介者：小倉小枝子

編集・発行　：FF 愛知
ホームページ：http://homepage2.nifty.com/FF-Aichi/
事　務　局　：〒470-2101
愛知県知多郡東浦町森岡祖母懐 15-37
Tel & Fax 0562-83-8341
鷹野晴子

編集後記

厳しい今年の暑さも、朝晩は和らいできました。

ミネソタのアンバサダーを迎える準備が、徐々に進んでいます。

TV で楽しんだオリンピックは、スポーツ選手の国際交流の場でもありました。

FF 愛知は FFI の世界大会にも多数参加し、国際交流を積極的に体験します。

＜橋本＞